

新しい仲間に出会う、春

市内小中学校で入学式

ご入学おめでとうございます

4月7日、市内19校の小学校で入学式が行われ、今年度は544人の児童が新たに学校生活をスタートさせました。

校庭を囲むように桜の花が咲き誇る小幡小学校では、21人の児童が入学しました。保護者が見守る中、名前を呼ばれて「はい！」と元気よく返事をする一人ひとりの表情には、嬉しさと緊張が感じられました。島田陽一校長先生は「色々なことにチャレンジすること」「先生やお友達のお話しをよく聞くこと」「お友達と仲良くすること」の3つを話し、新入生を優しく迎えました。

続く4月8日には、市内の5つの中学校で入学式が行われ、543人の生徒が入学しました。

国府中学校には、そのうち42人が入学しました。小学校6年間を経て成長した新入生の、呼名に対する凛とした返事を聞き「決意と意気込みを感じました」と話すのは倉本明校長先生。続けて「義務教育最後の3年間はあつという間です。卒業する時にどんな自分になっていたいか、目標を立てて過ごしてください」と、輝く未来に向かう生徒へ激励の言葉を贈りました。そして、新入生代表の言葉では、これから始まる中学校生活への期待と、小学校の先生や地域の人たち、そしていつも温かく支えてくれる家族への感謝が述べられました。

多くの児童、生徒が大きな一歩を踏み出した春。新しい環境で、新しい仲間と出会い、かけがえのない時間を過ごすことを祈っています。

